

ポリマーセメント系下地調整塗材 JIS A 6916 建築用下地調整塗材(C-2)

DIA

ダイヤ セメントフィラー

F☆☆☆☆

塗装、建築用仕上塗材に最適なポリマーセメント系下地調整塗材です。

■ 特 長

- 付着強さ、耐ひび割れ性、耐衝撃性に優れています。
- 吸水性が小さく、吸込みむらがないため、全面地付けした場合、塗装下地や吹付け下地として最適です。
- コテ塗りやヘラ付けが容易で効率よく均一に塗ることが可能です。
- 最大3mmに塗つけてもひび割れを生ぜず、1mm以下の厚みでもドライアウトしにくい下地調整塗材です。

■ 用 途

- コンクリート、PCパネル、ALCパネルに塗装、建築用仕上塗材を施工する場合の下地調整。
- コンクリート面の不陸、目違い、気泡穴、亀裂などの修正、補修。
- 軽量コンクリートブロック、木毛セメント板など多孔質下地の下地調整。
- モルタルのひび割れ補修。
- コンクリート、PCパネル、ALCパネルへ左官仕上げを行う場合の薄塗用仕上材。

荷 姿：ダイヤセメントフィラー粉体 20kg } 1セット
 ダイヤセメントフィラー混和液 2.3kg }

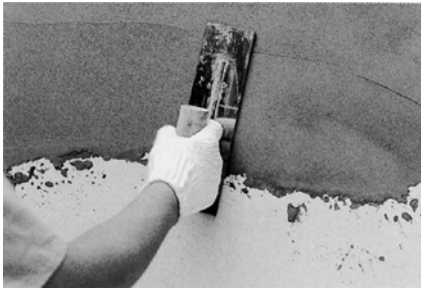
■ 性 能

試験項目	試験条件	成績	試験方法	
作業性	コテ作業に支障がないこと	支障なし	社内試験法	
軟度変化	±20%以下	7	JIS A 6916による	
耐ひび割れ性	ひび割れがないこと	異常なし		
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれがないこと	異常なし		
吸水性	1g以下	0.6		
付着強さ	標準養生	1.0N/mm ² 以上		1.4
	低温養生	0.7N/mm ² 以上		1.2
耐久性	割れ・膨れ及び、剥がれがなく 付着強さが1.0N/mm ² 以上 あること	異常なし 1.1		

ダイヤセメントフィラー

■ 施工工程

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		
					工程内	工程間	
1	下地調整	(1)雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。 (2)下地に付着している塵、汚れ、レイタンス等を完全に除去して下さい。 (3)脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。					
2	施工	ダイヤセメントフィラー粉体 ダイヤセメントフィラー混和液 清水	20kg 2.3kg 4.5～5.5%	1.5～2.0kg/m ² 11～14m ³ /缶	1	—	7日間以上



下地の前処理

- ①豆板、欠け、著しい不陸、3mm以上の目違いはあらかじめポリマーセメントモルタル(樹脂入モルタル)で補修しておきます。
- ②下地表面に出ている番線や釘などは除去し、その頭をエポキシパテ、耐アルカリ性さび止め塗料などで防錆処理をしておきます。
- ③汚れやALC/パネル面の粉は十分に取り除いて下さい。
- ④下地が極度に乾燥している場合は、適度の水湿しを行います。

調合方法

- ①混和液2.3kgを約4%の水で薄め、これに粉体を徐々に加えながらオートマゼル等のハンドミキサーで練り混ぜます。マコがなく均一に練り上がってから更に1%の前後の水を加えて練りやすい粘度に調整します。
(調合した材料は1時間以内で使用して下さい。)

施工方法

- 部分補修塗りの場合** 金ゴテ・金ベラ等を用いて目違い、気泡穴ひび割れ部分にしごき付けし、十分に充填した後、塗りむらの残らないように表面を平らにします。
- 全面地付けの場合** 金ゴテ下ごすりしながら全面に塗り付けます。前処理をしてない気泡穴、目違い、ひび割れ部分は入念に処理し、跡が残らないようにして下さい。面精度を良くする場合は、水引き加減を見計らい、隅、角の納まりを注意しながらコテむら、地むらのないよう十分にコテ押さえを行って仕上げます。
- 塗厚及び塗り重ね** 1回に3mm以上厚塗りしないで下さい。ひび割れが出ることがあります。尚、塗り重ねる場合は16時間以上放置して下さい。

養生

- ①異常低温及び夏期の直射日光、強風等による早期乾燥が予想される場合は2～3日間シート掛け等の養生を行って下さい。施工直後(16時間以内)に降雨の予想される場合及び冬期に白華(エフロレッセンス)の発生が懸念される場合もシート掛けを行って下さい。次工程(仕上材料の施工)は7日以上放置してから行って下さい。

■ 注意事項

- ①雨天時、強風時または気温5℃以下の場合は施工を避けて下さい。また、夜間に凍結の恐れがあるときは作業時間帯を考慮し、必要に応じて養生を行って下さい。
- ②材料の保管及び調合場所は直射日光の当たらない場所で行って下さい。
- ③水を加えすぎると本来の強度を発揮しない場合があります。
- ④乾燥時間は、温度湿度により差異が生じます。
- ⑤材料の在庫期間は3ヶ月以内として下さい。
- ⑥材料は付着乾燥しますと取れませんが完全に養生をして下さい。塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、施工後は速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。
- ⑦施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。
- ⑧施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



株式会社 **ダイフレックス**

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。